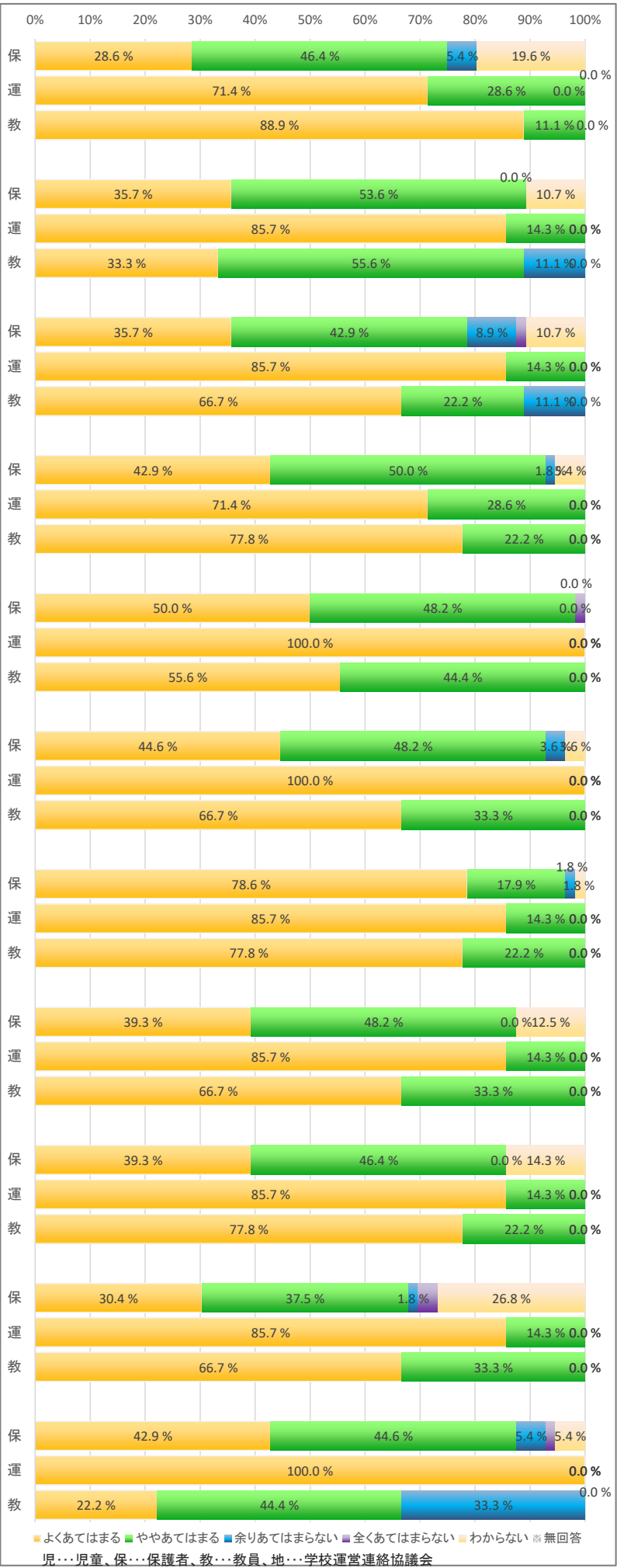


学校評価 参考資料

令和6年度「学校評価アンケート」集計結果と次年度の改善骨子

アンケート項目 1～11	
Ⅱ 確かな学力の育成	1 学校は、幼稚園・保育園・中学校と、適正に連携を図っている。
	2 学校は、子供の学力の定着・向上のために、分かりやすい授業を行っている。 （参考）【毎時間のめあての提示、自力解決・調べ学習時間の確保、まとめの時間の設定、個に応じた指導】
	3 学校は、ICT機器やタブレット端末の活用により、分かりやすい授業や子供の学びの意欲の向上に取り組んでいる。 （参考）【拡大提示装置による手本の提示、タブレットを活用した意見交流、漢字・計算などのドリル学習、調べ学習、カメラ機能を利用した観察活動】
Ⅲ 豊かな心の育成	4 学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動をととして、互いの良さを尊重し合う温かい学校づくりを推進している。 （参考）【道徳科での「思いやり」を主題とした授業、毎月の学年別あいさつ運動、6月ふれあい月間でのi-checkやいじめアンケート、帰りの会での「今日のきらきらさん」等の取組】
	5 学校は、生命を大切にする態度や思いやり、優しい心情を育てている。 （参考）【飼育委員会によるマシュマロ(ウサギ)とのふれあいの会の設定(学期に1回程度)、学年に応じた植物の育成(アサガオ、夏野菜、稲、緑のカーテン、人権の花)、3年生によるブル指導前のヤゴ救出大作戦】
Ⅳ 健やかな体の育成	6 学校は、子供の体力向上や健康の促進に、積極的に取り組んでいる。 （参考）【朝のチャレンジタイムでのストレッチ(週2回)、外遊びの奨励、体力テスト・デイズ理療法士会の協力による体力テスト、定期健康診断、保健便り発行(毎月)、体育館舞台にボルダリングの設置】
	7 学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に取り組んでいる。 （参考）【苦手な食べ物も一口は食べる、自分が食べられる分だけもらい残菜を減らす、食事中は静かに食べるといった日々の給食指導、給食便り・予定献立表の発行(各毎月)、「残さず食べようデー」「カミカミメニュー」「食育の日(日本の郷土料理)」「世界の料理」などの工夫した献立、給食試食会の実施】
Ⅴ 一人一人を大切に する教育の推進	8 学校は、いじめ防止等(未然防止、早期発見、早期対応)に学校全体で組織的に対応している。 （参考）【いじめいじわる0スローガン(7月1SSホップ集会で各学級が発表)、いじめ実態アンケートの実施(各学期)、アンケートを基にした担任の聴き取り(6月)、いじめ防止委員会での情報共有、対策検討、区教委への報告(毎学期)】
	9 学校は、子供たちの気持ちを理解するために、一人一人に寄り添いながら指導を行っている。 （参考）【i-checkアンケートによる学級内での安心感の測定(1学期)、心のふれあいアンケート(毎学期)、休み時間動向調査、希望者によるスクールカウンセラーとの面談(毎週火曜日)、校長室前トークポストでの個別相談(随時)】
	10 学校は、特別な支援を必要とする児童や発達に課題のある児童に対して、適切な指導を行っている。 （参考）【特別支援教室いまわりでの個別指導・集団活動、個別指導計画の作成と成果と課題の振り返り(毎学期)、所属学級担任といまわり担当教員との情報共有(毎週)、チームステップ(特別支援教育巡回相談員)による学級担任への指導助言やサポート(年間)、巡回心理士による定期観察とフィードバック(1学期全学級実施)、特別支援教育全体会での全教職員での情報共有(6月と2月)、特別支援に関する情報の発信、毎月配布している学校だより「ふじみだい」の「富士見台小のプロフェッショナル」で紹介】
とⅥ 魅～力 教 くあ 師 りる 力 学 の 校 向 づ 上	11 学校は秩序があり、子供たちは落ち着いて学校生活を送っている。 （参考）【生活指導夕会での学校のルールや問題行動、児童のけがについての情報共有、生活月目標の確認(毎月)週目標の反省と確認(週1回)、看護当番教員による校庭遊び・体育館遊び・学校図書館利用の見守り(毎日)】



豊島区立富士見台小学校 令和7年2月7日

アンケート項目 12～15

とⅦ
魅～力
教
くあ
師
りる
力
学
の
校
向
づ
上

12
学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かしている。
（参考）【としま土曜授業公開や行事後のアンケートの実施と改善、連絡帳や電話等による個別の要望への対応、中間・年度末の学校評価、学校運営連絡協議会での教育活動報告や意見交換(7月と3月)】

Ⅶ
家庭・地域との連携

13
学校は、学校や子供たちの様子を、学校だよりや学校ホームページ、学校公開等によって、分かりやすく伝えている。
（参考）【学校便り(校長巻頭言、月行事予定、学年からの連絡)学校ホームページ(授業風景、学校行事、給食等の写真)安全・安心メールの配信】

14
学校は、家庭や地域と協力しながら子供を教育している。
（参考）【長崎獅子舞、3世代交通安全教室、保護者会、連絡帳、電話、タブレットでの対応、区民ひろば富士見台との交流、トキワ荘での作品展示、富士見台小・道徳(19)の日での家庭との連携、自分を見つめようアンケート(児童)、言葉かけアンケート(保護者)の傾向調査を元にした校内研究】

Ⅷ
教育特色ある

15
学校は、生活や健康、交通、災害など安全・安心への取組に関する教育を推進している。
（参考）【児童によるISSホップ集会、各学級でのいじめ0宣言、8委員会のISS活動、避難訓練(毎月)、引き渡し訓練、集団下校訓練、セーフティ教室、地域防災訓練(年1回)、安全デー、情報モラル教育】

Ⅰ
幼稚園、保育園の連携についてHPに掲載し、保護者への理解に努めている。「よくわからない」については中学校との連携の様子が見えにくいことが考えられる。今後も、幼稚園、保育園、中学校との連携について積極的にHPや学校だよりを活用して、保護者や地域の方に様子を伝えるようにしていく。

Ⅱ
研究推進委員会やOJTを通して、授業力向上を図っている。また、授業改善推進プランを作成し、授業改善週間を設定して授業の実践について共通理解を図り、授業力向上に努める。
ICTは、ミライシードやデジタル教科書を活用して授業を進めている。今後も、各学年でICTを活用できるよう、研修会を設定して計画的にICTを活用した学習を進めていく。

Ⅲ
おおむね達成できている。1月の道德地区公開講座でも地域や保護者に学校での取組を伝えていく。また、児童や保護者へのアンケートをもとに、テーマや授業の改善を図っていく。

Ⅳ
児童は積極的に校庭で遊んでいる。体育館遊びの時間も設定し、児童が体を動かす場所の確保に努めている。しかし、校庭遊びの時間が1日1回のため、教室や廊下を走ってしまう児童が見られる。校庭遊びの時間や遊びの場所を増やす等、検討して遊びの機会を増やし、体力向上を図っていく。
給食の時間では、使用した地域の名産を紹介したり、カミカミデーを設定してよくそしゃくして食べたりすることを指導している。また、健康の日では、栄養や食べ方についても指導を行い、食育の充実に努めている。

Ⅴ
学期に1回児童アンケートを実施していじめの早期発見に努めている。また、アンケートをもとに児童から聞き取りを行い、早期解決に努めている。また、「いじめいじわる0スローガン」を学級ごとに考え、学期ごとに振り返りを行うことで、いじめの防止に努めている。
特別に配慮が必要な児童には、担任や養護教諭が外部の専門家と連携しながら適切な支援を行っている。

Ⅵ
「おおむね達成できている」という外部評価の反面、教職員の評価では遅刻が多数いることや、廊下を走ること、集会時の私語、話をする人の方をむかずうしろをむいている等の態度改善する必要があるという評価だった。今後、一つ一つの事象に対して、原因と対策を教職員で考えていく。そして、さらに落ち着いた学校生活を送ることができるように努めていく。
行事や公開ごとにアンケートを実施し、保護者の意見や要望を把握し、話し合いをもとに改善につなげていく。

Ⅶ
月に1回、学校便りやホームページを配信して、学校の様子を伝えている。今年度から学校便りを紙で配付することから、データで配信することに切り替え、迅速に確実に保護者に読んでもらえるようにした。しかし、その切り替えによって目を通す機会が減ってしまった保護者もいるので、保護者会などで周知していく。
3世代交通安全教室では保護者への協力をお願いしたり、区民ひろばとの交流活動を適宜行ったりしている。行事を見直し、保護者や地域の方と連携できる活動を見直し、年間で計画していく。

Ⅷ
ISSの取組で、ホップ、ステップ、ジャンプ集会で安全・安心の意識を高める集会を学期に1回実施している。また、安全デー、健康の日として月に1回、安全・安心な教育の推進を引き続き実施していく。